

(公益社団法人) 日本建築家協会 監修
2021 年度版 建築工事共通仕様書 改訂概要

全般	• 各章全般に基準、規格、法規及び文章表現の見直			
1 総則	1.1	1.1.10	発生材の処理	1.2 工事現場管理へ移動
	1.2	1.2.4	施工条件	現状の建築における環境配慮に鑑みて大幅に追記
		1.2.5	品質管理	現状の建築における環境配慮に鑑みて大幅に追記
		1.2.6	施工中の安全確保	現状の建築における環境配慮に鑑みて大幅に追記
		1.2.7	火気の取扱い	現状の建築における環境配慮に鑑みて大幅に追記
		1.2.8	交通安全管理	現状の建築における環境配慮に鑑みて大幅に追記
		1.2.9	災害等発生時の安全確保	現状の建築における環境配慮に鑑みて大幅に追記
		1.2.10	施工中の環境保全等	現状の建築における環境配慮に鑑みて大幅に追記
		1.2.11	発生材の処理等	現状の建築における環境配慮に鑑みて大幅に追記
2 仮設工事	2.1	2.1.1	適用範囲	訂正・追記
		2.1.2	施工計画書	a (1) 訂正 a (2) 訂正 a (4) 訂正・追記
	2.2		敷地測量その他	a 追記 b 追記・訂正
	2.4		縄張り・やりかたその他	c 追記 d 追記 e 削除・訂正
	2.5		足場及びさん橋	c 訂正
	2.6		係員詰所・材料置場・下小屋その他仮設建築物	c 訂正
	2.7		工事用機械器具その他	a 訂正 b 訂正
4 地業工事	4.1	4.1.5	記録及び報告書	b (5) 施工記録を保存する期間を追記。
6 コンクリート工事	6.5	6.5.2	打継ぎ	打継ぎ部の位置を変更
7 鉄骨工事	7.2	7.2.3	普通ボルト	c 材料・仕上げに関する記述を 7.2.3.1 表に変更
		7.2.4	アンカーボルト	b 材質を JIS B 1220「構造用両ねじアンカーボルトセット」に変更
	7.8	7.8.1	工場塗装	c 実状に合わせて、「なお、2 回目のさび止め塗装は、原則として工事現場において建方完了後行う。」の記述を削除
9 防水工事	9.1	9.1.3	施工計画書	(7) 他の章と表現を統一。
	9.4	9.4.1	材料	b～e 他の防水工法と項目の構成を統一。 (b 補助材料、c 断熱材、d 保護塗料、e その他の材料) シート防水の保護工法の事例が少ないため、成形伸縮目地材及び保護コンクリートの項目を削除。
	9.5	9.5.1	材料	c・d 他の防水工法と項目の構成を統一。 (c 保護塗料、d その他の材料) a 主材料 ウレタン系防水材に高強度形(超速硬化吹付けタイプ)を追加。 b 補助材料 補助材料に保護緩衝材を加え、保護塗料は独立した項目を新設したため、補助材料の項目からは削除。
		9.5.2	種別	ウレタン系塗膜防水の種別をこれまでの2種類から5種類に拡充。 9.5.2.1 表 上記に伴い、これまでの仕様番号を見直し。 (KX-1 → KXA-1、KX-2 → KXA-2) 防水材製造者ごとの仕様や工法の多様性に対応するため、注 4・5 を追加。

全般	• 各章全般に基準、規格、法規及び文章表現の見直		
	9.5.2	種別	<p>9.5.2.2 表 ウレタンゴム系高強度形塗膜防水の種別として新設。(KXB-1、KXB-2)</p> <p>9.5.2.3 表 ウレタンゴム系複合塗膜防水の種別として新設。(KXC-1)</p> <p>9.5.2.4 表 新設した上記2つの表により、表の番号を見直し。注3の「固形分」の後ろに「が」を追加。</p>
	9.6	9.6.1	<p>材料</p> <p>c～e 他の防水工法と項目の構成を統一。(c 保護塗料、d 保護材、e その他の材料)</p> <p>b 補助材料 保護塗料及び保護材は独立した項目を新設したため、補助材料の項目からは保護仕上材を削除。</p> <p>d 保護材 水槽類、地下外壁に用いる工法では、保護材の仕様を特記するよう改訂。</p>
	9.6	9.6.2	<p>種別</p> <p>防水材製造者ごとの仕様や工法の多様性に対応するため、防水材の総使用量を変えずに工程数や各工程の使用量を増減できるよう改訂。</p> <p>9.6.2.1 表 工程4として、保護塗料及び保護材を追加。注2において「軽歩行用保護塗料仕上げ」を「保護塗料仕上げ」に改訂。</p> <p>注3から「地下外壁は保護緩衝材による仕上げとする」を削除。注3において「地下内壁」を「地下内外壁」に改訂。</p> <p>注4として保護材の適用を追加。</p> <p>注5において「材料製造者」を「防水材製造者」に改訂。</p>
15 左官工事	15.3	15.3.1	適用範囲
		15.3.3	<p>調合及び塗圧</p> <p>15.3.3.1 表中 塗圧の標準値一部変更及び一部文字追記</p> <p>注8 一部文字修正</p>
	15.4	15.4.3	<p>調合（容積比）及び塗厚</p> <p>15.4.3.1 表中 セっこうラスボード、セっこうボードの欄に表一部挿入</p>
17 ガラス及びプラスチック工事	17.1	17.1.3	<p>施工計画書 施工図</p> <p>訂正</p>
		17.2	<p>17.2.2 取付け材料</p> <p>b JIS No 削除</p>
		17.2.4	<p>一般工法</p> <p>c 訂正</p>
		17.2.5	<p>特殊ガラス工法</p> <p>修正 17.2.5.1 表 合わせガラス (1)</p>
18 吹付工事	18.1	18.1.4	<p>材料</p> <p>18.1.4.1 表 仕様追加。</p>
		18.1.9	<p>下地処理</p> <p>18.1.9.1 表 仕様追加。</p>
		18.1.11	<p>工法</p> <p>仕様及び工法追加修正。</p> <p>18.1.11.1 表 仕様及び工法追加修正。</p>
19 塗装工事	19.1	19.1.8	<p>塗装仕上げの略号</p> <p>19.1.8.1 表 塗装仕上げの略号・・・見直し。</p>
		19.1.9	<p>さび止塗料及び鉄面の素地ごしらえ</p> <p>19.1.9.1 表 鉄鋼面さび止め塗料一覧表・・・一般用さび止めペイントを削除して、2液形エポキシ樹脂プライマーを追加。</p>
	19.2	19.2.1	<p>塗装仕様の適用</p> <p>19.2.1.1 表 塗装仕様の適用・・・仕様の見直し。</p>
		19.2.2	<p>塗装仕様</p> <p>塗装仕様・・・重ね塗り乾燥時間を削除して、規格名称へ修正。所要量の見直し。</p>
22 ユニット工事	22.2	22.2.11	<p>フリーアクセスフロア</p> <p>b 工法の項目及び文追加</p>
		22.2.14	<p>移動間仕切</p> <p>b 性能等 (3) 一部文字追加及び (4) (5) (6) 項目追加</p>